

徳島県議会議員

古川ひろし VOL.6

令和3年3月15日発行

とくしま通信

皆様の声を、徳島を動かす力に。
その架け橋をめざして。



徳島県議会議員

古川ひろし

障害者支援施設「眉山園」園長

三橋 一巳 氏

対談

「大きな夢を、一緒に追いかけて」

障がい者の平均月額工賃 全国1位の夢が実現するまで

約12年前に出会い、共に障がい福祉サービスの向上を目指して取り組んできた眉山園園長・三橋一巳氏と、古川ひろし徳島県議会議員が対談を行いました。

障がい福祉サービスの 変革期に出会って

■古川 三橋園長と最初にお会いしたのは、私が県の障がい福祉課に配属された2008年のことでした。当時は自立支援法が施行されてまだ間もない頃で、障がい福祉サービスの体系が大きな転換期を迎えていた時期と重なります。

■三橋園長 なかでも大きな目標だったのが「障がい者の工賃水準の引き上げ」です。地域において障がい者の自立した生活を実現するため、国が「工賃倍増5か年計画」を打ち立てました。その際、県が障がい者施設に優先発注を行うための受け皿として設立したのが『NPO法人とくしま障がい者就労支援協議会（当時：授産支援協議会）』です。その頃から、古川さんにはあらゆる面でバックアップをいただき心から感謝しています。

■古川 県でも「障がい者の平均月額工賃全国1位を目指そう」という目標を立てました。当時、国が平均工賃をアップさせるためのモデル事業を全国から募集することになり、私自身が計画書を作成し、国への申請を行いま



●障害者支援施設「眉山園」の視察を行う古川議員

した。皆様のご協力もあり、全国でわずか数件しか採択されない国のモデル事業に選ばれ、給付された2千万円余りの予算で先進的なプロジェクトが始まったんです。

スウィーツ甲子園で 「和三盆コロン」がグランプリを獲得

■三橋園長 特に印象的だった取り組みの一つが、オリジナルスイーツの開発です。それまでの福祉施設の商品は「安かろう悪かろう」というものが多く、関係者にしか売れないケースがほとんどでした。商品開発のために大阪まで出掛けたり、ブランドロゴや商品パッケージをプロの方と一緒に考えたりしながら完成した商品の一つが「和三盆コロン」です。

■古川 和三盆コロンは、平成24年に行われた「第4回スウィーツ甲子園」で見事グランプリを獲得しました。

■三橋園長 古川さんには、その下地を作っていただきました。販促を目的としたバザーにも何度も足を運んでいただいたことも嬉しかったです。（裏表紙に続きます）



●協議会のキャラクター
「あいねこ・藍ずきんちゃん」



●国のモデル事業として開発した
「和三盆コロン」は人気商品の一つ。

徳島県議会 令和2年9月 定例会 一般質問

災害対策やコロナ禍への対応、福祉の充実など、
9月議会にて徳島の未来づくりに向けた質問を行いました。
その内容をダイジェストでご紹介します。



富岡東高校生と意見交換



赤羽国土交通大臣に四国横断自動車道等の早期整備を要望



飯泉知事に新型コロナウイルス対策を提言

「脱炭素社会」実現のための カーボンプライシング導入について

質問 カーボンプライシング導入に対する見解を伺うとともに、全国知事会において議論の一層の深化を図ってほしいと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 【知事】 カーボンプライシングは、新たなサービスやイノベーションを生み出すチャンスともなり得ることから国に導入を提言してまいりました。全国知事会においては新たにプロジェクトチームを設置し、環境大臣参加のもとで意見交換を行ったところです。今後とも脱炭素社会への転換と経済再生を同時に成し遂げるために全力を挙げてまいります。



新型コロナウイルス感染症対策について

質問 高齢者・障がい者施設等における新規入所者や必要性のある職員を対象に、PCR検査等を公費もしくは少ない負担で受けられる仕組みを創ることはできないか。

答弁 【保健福祉部長】 影響が極めて大きい高齢者や障がい者施設等においては、ウイルスを持ち込ませないための対策を一層強化する必要があります。今後、国の動きに迅速に呼応し、高齢者・障がい者施設等の入所者や職員など、必要な方に適切な検査が実施できる検査体制の強化を進め、新型コロナウイルスの感染予防対策にしっかりと取り組んでまいります。



学校空調モデル創出事業の実施と 福祉避難所の指定について

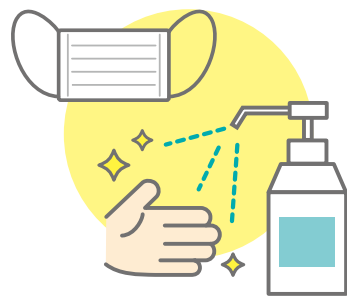
質問 「新しい生活様式」に対応した学校空調モデル創出事業の特別支援学校での実施と、その施設の福祉避難所指定を提案するが、所見を伺いたい。

答弁 【知事】 本県独自の取り組みとして、十分な換気と適温保持の相反する目的を両立させる「ハイブリッド型の新次元モデル」として、「徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校」において整備してまいります。また、両校を新たに福祉避難所に位置付けることとし、一日も早い指定に向けて協議を開始してまいります。



質問 新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、在宅の障がい児者及びその家族に対して、どのように安心を確保していくのか、具体策を伺いたい。

答弁 【保健福祉部長】 本県では、障がい福祉サービス事業所や、医療的なケアが必要な障がいのある方のご家庭に対し、マスクや手指消毒用アルコールを配布するなどの支援を行ってまいりました。また、ご家族が感染・入院されるなど介護をされる方が不在となった場合において、受入れできる施設を整備するなど、支援体制の強化に向けて着実に取り組んでまいります。



子どもの養護や支援に関する 総合的な施設の整備について

質問 子どもの養護や支援に関する総合的な施設の整備について、全国から専門的な人材を求めて行うことを検討してはどうか、所見を伺いたい。

答弁 【未来創生文化部長】 昨今、施設教育を取り巻く環境は変化しており、地域の実情を勘案した専門的な在宅支援や、退所後の社会的自立に向けた支援等、新たな課題への対応が求められております。施設整備の促進にあたっては、議員ご提案の考え方を含め、施設関係者にも話を伺いながら「どのような手法が可能なのか」について研究してまいります。



「地域共生社会」構築の推進について

質問 地域共生社会の構築を推進するため「重層的支援体制整備事業」に関するアドバイザーを市町村に派遣する事業の実施を提案するが、所見を伺いたい。

答弁 【保健福祉部長】 市町村において縦割りを超えた「包括的な支援体制」を構築するには、さらなる支援が必要であると認識しております。知見を持った専門家が「新たな地域のつながり」を紡ぎ、具体的なアドバイスをを行うことは取組の推進に資するものと考えますので、アドバイザーの派遣につきましては今後の実施に向け検討を開始してまいります。



豪雨時における「逃げ遅れ」を 出さない取り組みについて

質問 豪雨時における「逃げ遅れ」を出さない取り組みについて伺うとともに、市町村も含め協議できる場を設けてはどうかと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 【政策監】 着実な避難を促すため、要配慮者利用施設の「避難確保計画」の作成支援や、必要な雨量情報を迅速に届ける「プッシュ型配信」へのシステム改良などに係る予算を今定例会に提案しております。また、県と市町村で構成する「徳島県災害時相互応援連絡協議会」の活用をはじめ、防災情報のあり方や周知の方法などについて検討を進めてまいります。



健康づくりへの 取り組みが 紹介されました。

2020年8月11日 公明新聞

専用のスマートフォンアプリを使い、歩数のポイントに応じて割引券や特産品がもらえる「とくしま健康ポイントプロジェクト」。議員として健康への意識向上を図るために行ってきた活動内容が新聞に掲載されました。

さらなる就労環境の 向上を実現するために

徳島県の平均月額工賃が 2年連続で全国1位に

■古川 三橋園長をはじめとする福祉施設関係者の御尽力もあり、2018年度には、徳島における障がい者の月額平均工賃がついに全国1位になりましたね。私が三橋さんとお会いしてから、ちょうど10年。当時の全国8位から、今や2年連続で1位となっていることに誇りを覚えます。

■三橋園長 私も本当に嬉しく思います。当時は自立支援法の施行に伴い、新しい事業に移行するための資金なども必要でした。古川さんが県庁にいらっしゃった頃には、送迎用の車両導入を全額助成していただくなど、さまざまな面で手厚いサポートをいただけたことも大きかったです。議員になられてからも、障がい者福祉をさらに充実させるために精力的に動かれていらっしゃいますね。

安心して暮らし、働ける環境を 築いて行きたい

■古川 福祉を取り巻く環境には、まだまだ多くの改善点があります。たとえば超未熟児として生まれ、重度の障がいを抱えたまま家庭に戻る「医療的ケア児」が全国的に増え



●さまざまな分野の仕事に取り組む眉山園の皆さん。



●「全国1位を続けていきたいです」と三橋さん。



●ブランド商品の開発は就労意欲の向上にもつながっています。

ています。そこで県による実態調査を依頼し、短期入所を拡充するための施策を打ち出しました。もう一つ力を入れているのが、災害時における在宅の障がい者の安全確保です。熊本地震の際、実際に開設できた民間の福祉避難所はわずかでした。そこで「徳島県立障がい者交流プラザ」を福祉避難所に指定してもらい、いざという時に障がい者の方々の安全を確保していただけるよう働きかけています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、障がい児者やその家族へのサポートも不可欠です。こうした問題もしっかりと行政に提案し、より安心して暮らし、働ける環境を築いていきたいと思っています。

■三橋園長 この10年間の取り組みの中で、職員たちの意識も高まっていると感じています。コロナ禍を言い訳にせず、これからも障がい者の方々の就労環境を改善し続けていけるよう頑張ります。

■古川 私も全力で応援いたします。本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

古川広志 プロフィール

(ふるかわ ひろし)

- 生年月日 昭和36年(1961年)8月12日
- 出身地 徳島県阿南市那賀川町
- 現住所 徳島県徳島市住吉2丁目7-19
- 家族 妻(ひとみ)と2人家族
- 現党職 公明党徳島県本部 幹事長

●経歴

- 昭和49年 平島小学校 卒業
- 昭和52年 那賀川中学校 卒業
- 昭和55年 富岡西高校 卒業
- 昭和59年 創価大学経済学部 卒業
- 昭和59年 徳島県庁入庁 平成26年退職
- 平成27年 徳島県議会議員に初当選
- 平成30年 徳島県監査委員
- 平成31年 徳島県議会議員に2期目当選

- 県議会 〒770-8570 徳島市万代町1-1
TEL 088-621-3034 FAX 088-621-2814

- 事務所 〒770-0861 徳島市住吉2丁目7-19
TEL・FAX 088-612-7118
携帯電話 080-5661-7372
h_furukawa_houmi@yahoo.co.jp

- 古川ひろし ホームページ
<http://hiroshi-furukawa.jp>

